

加古川市の観光まちづくり
に関する意識調査
報告書

令和6年11月 加古川市

調査概要

- 調査目的：加古川市民の視点における加古川市の観光の実情や意見を把握することはもとより、市民が観光まちづくりについて考えていただくきっかけにもなるよう、市民のやってみたいことやアイデアなどを伺うことを目的とする
- 調査対象：主に市内在住の方（在勤・在学の方を含む）
- 調査方法：①WEBフォーム、②紙媒体を市役所や市民センターなどに配置
- 調査期間：令和6年9月1日（日）～令和6年9月30日（月）の1ヶ月間
- 回答状況：1,115件

調査結果のまとめ

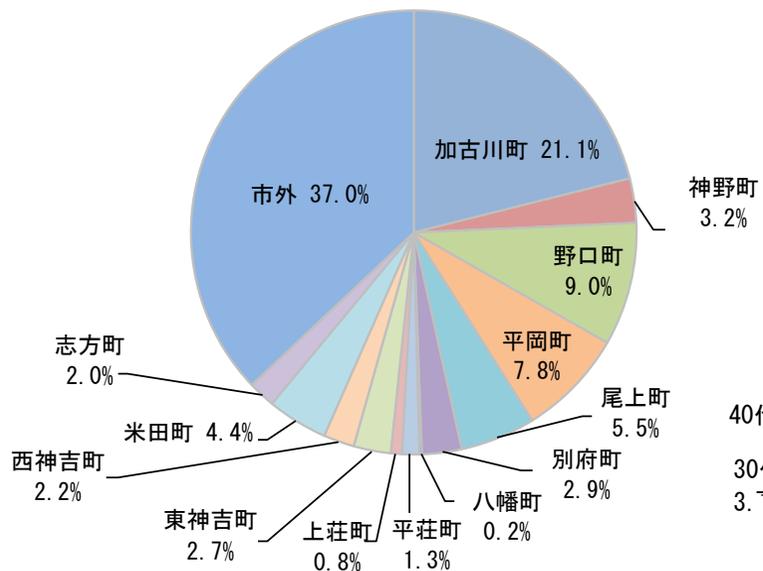
- 約6割の市民が「**加古川は魅力的な場所である**」と回答（問2）
- 加古川市には紹介・自慢したい地域資源として、**かつめしを中心に、神戸牛と同等のおいしさである「加古川和牛」**や**初心者から上級者まで登山を楽しめる「高御位山」**などがある（問3）
- 加古川市の食について、それぞれ固有のエピソードやこだわりがあるが、**かつめしや加古川パスタは、学校の給食の際に提供されるなど、子どもの頃から慣れ親しんだ食べ物**であり、思い出が深いものであるといえる。（問4）
- 加古川市で実施したい活動や取組について、「**加古川市産の食材を活かしたメニューの開発（商品提案、試作、試食）**」が**37.8%で最も多い**。また、実施したい活動や取組のアイデアも多様な回答があった（問5・6）
- 市の観光振興に向けては、観光資源が少ない自治体であり、一般的な観光地のような観光振興ではなく、**市民対象の観光ツアーなど、市民が住んでいて良かった、あるいは住みたくなるような取組**をするべきではないかなどの回答があった（問7）

問1 ご回答者の属性について

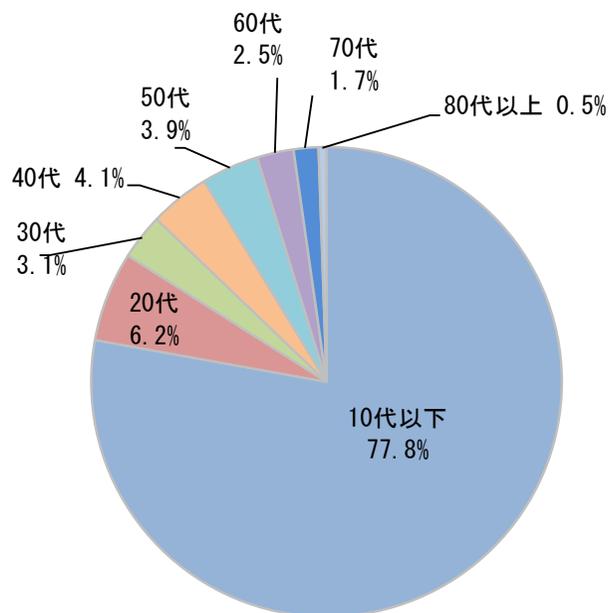
問1 ご回答された方についてご記入ください。(n=1,115)

- 回答者の属性は、約6割が市内在住の方で、年齢は10代以下が約8割、居住年数は10年～19年が約5割で最も多くなっています

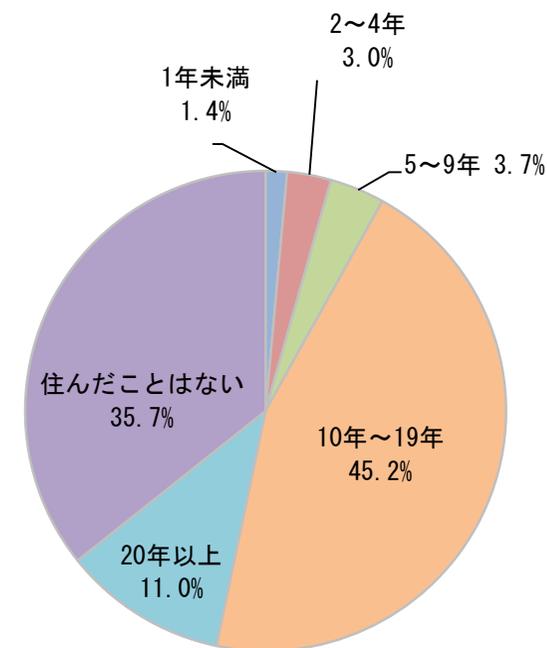
【住んでいるところ】



【年齢】



【加古川市での居住年数】

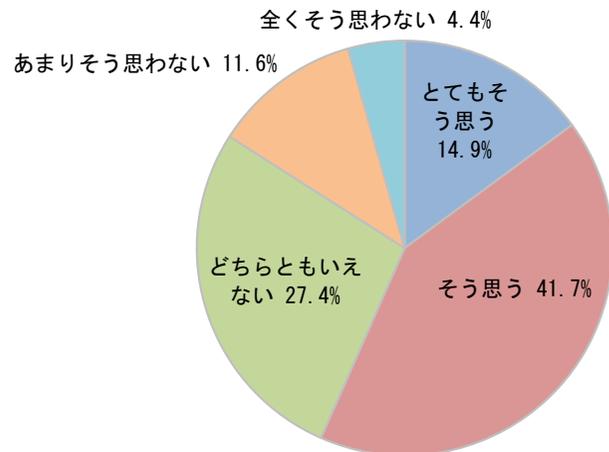


問2 加古川市の魅力度について

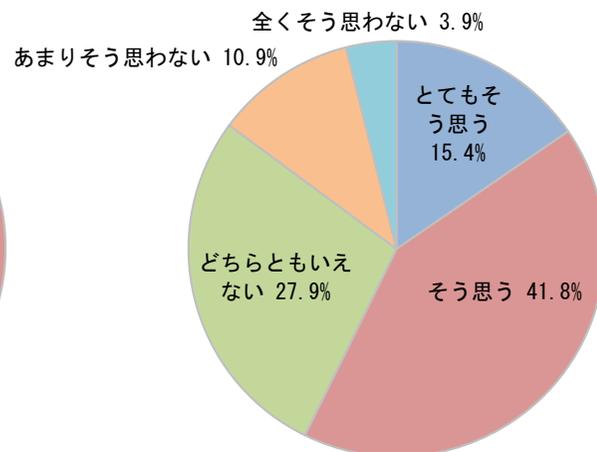
問2 あなたの目から見て、加古川市は魅力的な場所であると思いますか。

- 加古川市が魅力的な場所であるかについて、全体（n=1,115）としては、「とてもそう思う」が14.9%、「そう思う」が41.6%となっており、約6割の方が魅力的な場所であると思っています
- 10代以下（n=868）に限定すると、「とてもそう思う」が15.4%、「そう思う」が41.8%、20代以上（n=247）に限定すると、「とてもそう思う」が13.0%、「そう思う」が41.3%となっており、全体の割合と比べても、ほとんど同じとなっています

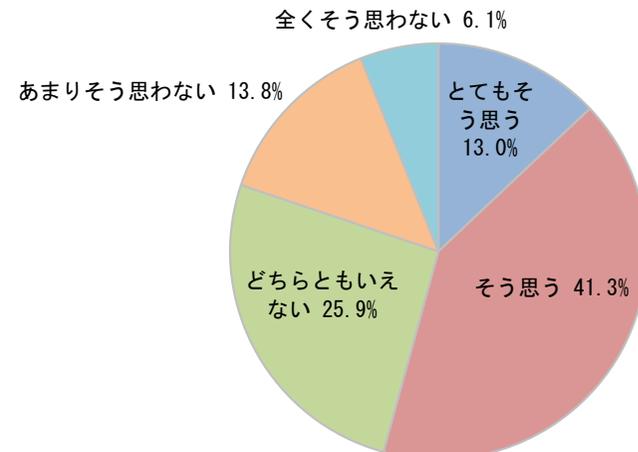
【全体（n=1115）】



【10代以下（n=868）】



【20代以上（n=247）】



問3 紹介・自慢したい加古川市の地域資源【食】について

問3 あなたが紹介したい（自慢したい）、加古川市の場所やモノ、ヒトなどについて、その理由と合わせて教えてください。

【食について（あなたが紹介したい（自慢したい）ことと理由）】

紹介・自慢したい地域資源【食】	その理由
かつめし	<ul style="list-style-type: none">• お店によって味や肉の種類が異なり、さまざまなお店を巡って楽しめる• イメージキャラクターがいるほど加古川に浸透しており、味もとてもおいしい• 市外ではほとんど目にする事のない、加古川市ならではのご当地グルメだと思う• デミグラスソースは各店がこだわって作ったもので旨味が強く、それでいてカツの風味を損なわない。カツとデミグラスソースという組み合わせは他の地域ではあまりないと思うが、味や食感の調和がとれていておいしい• 地元のソウルフードでB1グランプリ等にも出店していた• 小学校や中学校の給食に出てきておいしかった• まだまだ認知度が低いため、多くの方に知ってもらい、加古川市を元気あるまちにしたい
加古川和牛	<ul style="list-style-type: none">• 食肉センターもあり、河川敷では肉フェスが開催されている。和牛は加古川のアイデンティティとなっていると思う• 神戸牛に負けないクオリティとおいしさ• 市内の飲食店などで食べられる
加古川パスタ	<ul style="list-style-type: none">• 日本で初めての国産パスタでおいしい
いちじく	<ul style="list-style-type: none">• 志方町のいちじくがおいしい。ぜひもっと有名になって欲しい• 本当においしいと思える自然の食材
恵幸川鍋	<ul style="list-style-type: none">• 加古川市でできた味噌（高松味噌）と酒粕（岡田本家）と、地産地消の野菜を使った鍋で、地元の飲食店でも食べることができる。また、この鍋が売れることで、地域振興の一助となっている

※主なご意見を一部抜粋

問3 紹介・自慢したい加古川市の地域資源【自然・体験】について

問3 あなたが紹介したい（自慢したい）、加古川市の場所やモノ、ヒトなどについて、その理由と合わせて教えてください。

【自然・体験について（あなたが紹介したい（自慢したい）ことと理由）】

紹介・自慢したい地域資源 【自然・体験】	その理由
加古川	<ul style="list-style-type: none"> 河川敷でのイベントが盛り上げている 加古川の豊かな水が加古川のまちを作り上げた 河川敷で様々な体験ができるイベントが開催されていて、子どもに体験させてあげられるのが魅力的 加古川の上流と下流の方で違った見え方がある。加古川近くの公園では、同じ川の近くでも全く見え方が違って面白い 加古川沿いを河口に向かうと見える工場夜景がオススメ。特に冬の澄んだ空気の夜はキレイに見える 兵庫県最大の一級河川をボートなどを通じて触れあうことができる
高御位山	<ul style="list-style-type: none"> 低山で親子で登れる。コースによっては小学生低学年からでも登れる気軽さがよい 頂上まで約30分ほどで登れる登山初心者にも優しい山。しかし、高さは304mあるため、頂上からの眺望はとても綺麗で癒される。また、高砂市にある鹿嶋神社まで登山道が続いているほか、縦走できるコースも多く、登山に慣れた人でも十分に楽しめる 登山ルートも豊富で、初級者から上級者まで幅広くトレッキングが楽しめる
みとろの丘・観光果樹園	<ul style="list-style-type: none"> 大規模にリニューアルされ、非常によい施設になった みとろフルーツパークがリニューアルし、綺麗な場所でグランピングができるとのことで、子どもがもう少し大きくなったら、ぜひ夏休みの自然体験の場所として行きたい。近くの果樹園でも、ぶどう狩りや栗拾いなどできるのもよい フルーツ狩りやバーベキューを自然に触れながらできる
日岡山公園	<ul style="list-style-type: none"> 四季を通じて梅、桜、ツツジ、紅葉が楽しめ、古墳群も豊富にある

※主なご意見を一部抜粋

問3 紹介・自慢したい加古川市の地域資源【歴史・文化】について

問3 あなたが紹介したい（自慢したい）、加古川市の場所やモノ、ヒトなどについて、その理由と合わせて教えてください。

【歴史・文化について（あなたが紹介したい（自慢したい）ことと理由）】

紹介・自慢したい地域資源【歴史・文化】	その理由
鶴林寺	<ul style="list-style-type: none">• 聖徳太子に縁があり、国宝もあるから• 国宝を含む建造物があり、国宝があるまち自体が希少だと考える• 鶴林寺が代表的だが、それ以外の村の鎮守のような役割を持つ小さな寺社に至るまで、長い歴史を持つところが多く、手入れも行き届いていて、文化財を身近に感じられる。• 貴重な文化財があり、ストーリーとしてまとめることができる• 展示も豊富にあり、ひとつひとつの建物も文化遺産に登録されているなど歴史がある
日岡山神社	<ul style="list-style-type: none">• 神社は大きくて綺麗で、安産の神様が祀られているため、安産祈願やお宮参りの他、初詣や七夕の時期に子どもを連れて行ける
ニッケ社宅群	<ul style="list-style-type: none">• ノスタルジックな当時のままの建造物がたくさん現存しており、非常に雰囲気がい
靴下	<ul style="list-style-type: none">• 130年も超える長い歴史を持ち、加古川の特産品である
高砂線跡	<ul style="list-style-type: none">• 国鉄高砂線は加古川駅から高砂市まで走っていた路線であり、現在は廃線となっている。現在も廃線の跡が鶴林寺公園や尾上の松付近に残っており、鶴林寺公園には高砂線も走っていた機関車が保存されている。その他、廃線となっている、別府鉄道についても廃線跡を巡ることができる

※主なご意見を一部抜粋

問3 紹介・自慢したい加古川市の地域資源【イベント】について

問3 あなたが紹介したい（自慢したい）、加古川市の場所やモノ、ヒトなどについて、その理由と合わせて教えてください。

【イベントについて（あなたが紹介したい（自慢したい）ことと理由）】

紹介・自慢したい地域資源 【イベント】	その理由
花火大会	<ul style="list-style-type: none"> 加古川市の花火大会は以前は河川敷で5,000発を打ち上げる大きな花火大会が開催されており、多くの方が河川敷で花火を楽しんでいた。数年前から打上場所を市内の複数の場所から打ち上げる「分散型」の開催となっており、市内向けの花火大会となっているが、市内のあちらこちらで花火が上がるため、一度に多くの花火を見ることができる
ツデーマーチ	<ul style="list-style-type: none"> 二日間にわたって行われるイベントで、大人から子どもまで楽しめるうえ、出店ブースも多く、目玉イベントといえる 何度も参加したことがあるが、街中や自然の中を自分のペースで歩けるため、健康増進による 三つの歩くコースが選べて、その途中にある休憩所では、お餅や豚汁を食べることができて楽しかった
踊っこまつり	<ul style="list-style-type: none"> 全国から踊りが好きな人たちが集まる熱気に溢れるイベント
かわまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 食のイベントを通して、地元のおいしいお店を見つけたり、体験型イベントを通して、趣味がでたりなど、何かのきっかけになるかもしれない 子どもから大人まで気軽に参加することができ、地域の魅力を存分に楽しめるプログラムが非常に多い
かわのまちマーケット	<ul style="list-style-type: none"> 地元の店舗だけでなく、市民が参加（出店）しやすいイベントで地域がいきいきしていることを伝えられる 母親が出店したことがあり、地域のコミュニティが広がるから

※主なご意見を一部抜粋

問3 紹介・自慢したい加古川市の地域資源【ヒト】について

問3 あなたが紹介したい（自慢したい）、加古川市の場所やモノ、ヒトなどについて、その理由と合わせて教えてください。

【ヒトについて（あなたが紹介したい（自慢したい）ことと理由）】

紹介・自慢したい地域資源【ヒト】	その理由
観光大使	<ul style="list-style-type: none">• 加古川市の観光大使には俳優の方や芸人の方、棋士、スポーツ選手など幅広い分野で活躍されている方々が大使をされており、自慢できることのひとつ• 陣内智則さんは、多くの人に笑いを届けている素晴らしい有名人• 上野樹里さんや陣内智則さんは、誰もが知っている人であり、加古川市のPRに協力的
市民全般	<ul style="list-style-type: none">• 地域の高齢者は、話して見ると楽しいし、文化もいろいろと知っている• 多くの市民が公園や川沿いの清掃などのボランティア活動や歴史保存活動に参加している。地域愛が強く、地域の活動を積極的に行う人が多い• 「地元をよりよくしたい」という思いは多くの方が持っているだろうが、それを行動に移せる人はごく少数。しかし、加古川にはそのような人が多く存在し、その方々がどんどん周りを巻き込む形で地域を活性化させようと奔走している• 地域の人が優しく、いい雰囲気地域コミュニティがある

※主なご意見を一部抜粋

問3 紹介・自慢したい加古川市の地域資源【その他】について

問3 あなたが紹介したい（自慢したい）、加古川市の場所やモノ、ヒトなどについて、その理由と合わせて教えてください。

【その他について（あなたが紹介したい（自慢したい）ことと理由）】

紹介・自慢したい地域資源【その他】	その理由
神戸製鋼	<ul style="list-style-type: none">金沢町にある神戸製鋼所は町が全て工場となっており、陸地からでは工場の全てを見渡すことができないくらい大きな工場。神戸製鋼所は24時間高炉が稼働していることから、夜間でも工場の電気が点灯しており、とてもきれいな工場夜景を見ることができる
アクセス	<ul style="list-style-type: none">神戸や姫路、明石などの間にあるため、兵庫県内の都市などにアクセスしやすいJR加古川駅には新快速電車が停車する（大阪、三宮、姫路などへのアクセスに優れている）加古川駅は新快速が停車し交通の利便性がよく、その割に家賃も安い交通網がよく新快速も通るため便利で生活しやすい

※主なご意見を一部抜粋

問4 加古川市の食のエピソードやこだわり

問4 加古川市の食（かつめしや加古川和牛、加古川パスタなど）について、あなたの心に残るエピソードやこだわりがあれば教えてください。（例：かつめしは試験前に食べる勝負めしである、加古川和牛はお祝い事の時に食べている、加古川パスタには●●をトッピングする など）

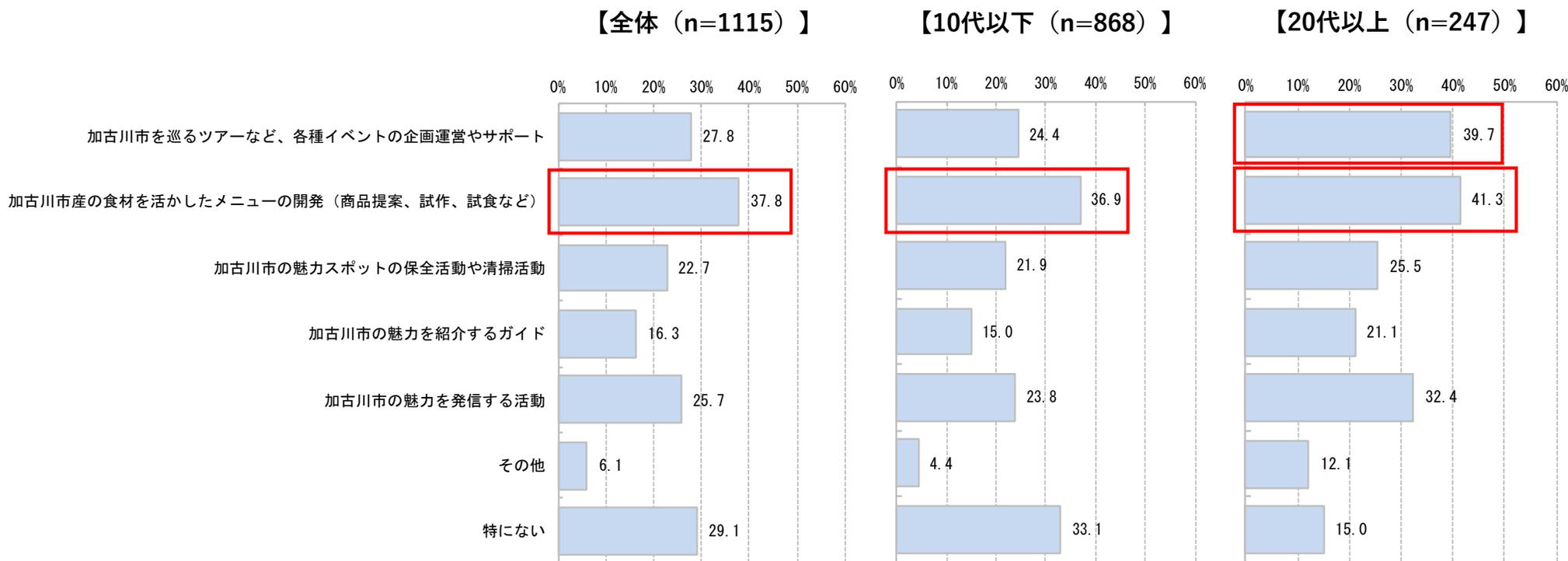
食	エピソードやこだわり
かつめし	<ul style="list-style-type: none"> • 祖父母が元気だった頃、よくかつめしを食べに連れて行ってもらった。中でも、木村にあった「一勝」のかつめしが特にお気に入りだった。残念ながら「一勝」は閉店してしまったため、その味を超えるかつめしを求めて、今もいろいろな店を巡っている • 近所の精肉店が毎年2月9日にかつめし弁当を500円で販売するので、ここ数年、毎年2月9日は我が家のかつめしの日になっている • かつめしは小さな頃から身近なものであったため、大学生になり地方で下宿をすることになってはじめて地元グルメであることを知った。加古川以外の人は知らないんだと思って以降、かつめしの話をする機会や他の地域の友人などに紹介することが増えた • 親族が加古川出身であり、今は県外に住んでいるが、かつめしのソースの味が忘れられないと言っている。贈り物の度にかつめしのたれを送ると、非常に喜んでもらえる • かつめしはお店ごとにこだわりを感じられるので、食べ比べしてみるのも楽しいと思う
加古川和牛	<ul style="list-style-type: none"> • 加古川和牛はお祝い事の時に食べている • 加古川和牛は正月や家で焼き肉をする時には特定の店に買いに行く • 加古川和牛を購入して、元気が欲しい時に家で焼肉をしている
加古川パスタ	<ul style="list-style-type: none"> • 加古川パスタと加古川パスタソースをセットにして、県外に住む姉にプレゼントしたらとても喜ばれ、おいしかったと言ってもらえた • 小学校、中学校の給食でたまに出てきた。給食で食べるまでは全く知らなかったが、食べられてよかった。とてもおいしかったため、その後、家族で加古川パスタを買った • 加古川パスタを学校の給食で初めて食べたとき、本当に麺がもちもちでおいしかったのが記憶に残っている。また食べたいパスタ麺 • 初めて給食で加古川パスタが出たとき、すべての食品が加古川で作られたものだと聞き感動した

※主なご意見を一部抜粋

問5 加古川市で実施したい活動や取組について

問5 あなたが加古川市の魅力を活かし、観光を盛り上げるとしたら、どのような活動や取組をすることが良いと思いますか（いくつでもOK）

- 加古川市の観光を盛り上げるために実施したい活動や取組について、全体（n=1115）としては、「加古川市産の食材を活かしたメニューの開発（商品提案、試作、試食など）」が37.8%で最も多く、全体の約7割（＝「特にない」を除いた回答割合）は、何らかの活動や取組を実践したい結果となっています
- 10代以下（n=868）では、「加古川市産の食材を活かしたメニューの開発（商品提案、試作、試食など）」が36.9%で最も多くなっています。また、20代以上（n=247）では、「加古川市産の食材を活かしたメニューの開発（商品提案、試作、試食など）」が41.3%で最も多く、次いで「加古川市を巡るツアーなど、各種イベントの企画運営やサポート」が39.7%となっています



問6 加古川市で実施したい活動や取組の具体的なイメージやアイデア

問6問5で「特でない」以外を選択された方にお聞きします。その活動や取組に具体的なイメージやアイデアがあれば教えてください。

(例：加古川の果物を使ったメニューを考えたい、かつめし店をめぐるツアーを企画したい、外国人に英語でガイドをしてみたい、市民のお気に入りスポットを集めたインスタをやってみたい、観光PR動画を制作したいなど)

取組・活動	具体的なイメージやアイデア
各種イベントの企画運営やサポート	<ul style="list-style-type: none"> 加古川駅前や東加古川駅前には飲食店が多いので、他の繁華街で実施している スタンプラリーやイベント専用千円メニューでの食べ歩きや食べ比べみたいなことがあれば楽しく色々なお店を体験でき、お気に入りの発見にも繋がる気がする トライアルウィークのような感じで 加古川の農業体験など、野菜や果物、米の収穫などをお手伝いする企画がよい 駅前で動く「かこのちゃん」が出迎えてくれたり、昔の宿場町があった場所などを再現する ARスタンプラリーができれば、若い人は寺家町商店街でスマホを使って最大限に魅力を楽しめると思う かつめしちゃんやかこのちゃんと 加古川の歴史や食、自然を巡るツアーを作る
加古川市産の食材を活かしたメニュー開発	<ul style="list-style-type: none"> かつめしは B級グルメのイメージが強いものの、牛肉を使用しており値段もそれなりである。高級グルメ「かつめし」として リブランディングすることで、より強い観光コンテンツになるのではないかと思う 加古川産の食材をメインに指定し、 高校の家庭科部などを中心にメニュー開発し、コンテストを実施する。優勝メニューは市役所の食堂や協力いただける飲食店で1年間限定で提供する。翌年度のコンテスト優勝メニューと決選投票し、勝てば継続して提供する 加古川市産の食材を使った駅弁を作る
加古川市の魅力スポットの保全活動や清掃活動	<ul style="list-style-type: none"> おそうじボランティア「green bird姫路チーム」の 清掃活動(駅前おそうじ、川のおそうじ、海のおそうじなど)によく参加(スタッフ的に)しているが、加古川市にも同様の取り組みがあればよいと思う 加古川市に多くあるため池を一緒に 清掃しながら、生態系などを観光客に教える
加古川市の魅力を紹介するガイド	<ul style="list-style-type: none"> 地元の学生たちがバスガイド風にスポットを紹介していく 「小学生が案内する加古川！」のような感じで、小学校の遠足に取り入れると子どもにも良い経験になるのではないかと思う。

※主なご意見を一部抜粋

問6 加古川市で実施したい活動や取組の具体的なイメージやアイデア

問6問5で「特にない」以外を選択された方にお聞きします。その活動や取組に具体的なイメージやアイデアがあれば教えてください。

(例：加古川の果物を使ったメニューを考えたい、かつめし店をめぐるツアーを企画したい、外国人に英語でガイドをしてみたい、市民のお気に入りスポットを集めたインスタをやってみたい、観光PR動画を制作したいなど)

取組・活動	具体的なイメージやアイデア
<p>加古川市の魅力を発信する活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「かつめし味わいマップ」を作って、例えば、縦軸にかつめしの味の特徴（酸味が強い～コクが強い）、横軸に価格帯（リッチ～リーズナブル）をマッピングした図を入れる 上荘町では、観光果樹園以外にも、よく果物を栽培しておられる農家を見かける。そういった若い農家のチャレンジを助ける発信があればよい 市外の観光客ではなく、市内の方への魅力発信をする。自分のまちの魅力をわかってもらうことが大切である 市内向けの観光情報誌を作成し、市の広報と併せて配布する。情報誌を読んでもくれた方が観光を語れる人となり育成にもつながる 精力的に活動されている市民団体の活動を市の広報やSNSで発信する。そのためにも、まずは加古川市が市内にどのような活動をしている団体がいるかを活動内容も含めて把握する 動画等で臨場感（実際その場にいる感覚）が体験できるようなものをSNS等で広める 観光PR動画をさまざまなジャンルで作成し、かこのちゃんを案内人として発信する
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> 高御位山・播磨アルプスは播磨地域でも特に有名な山域であり、地元の方はもとより市内外から多数の登山者が訪れている。市内外にPRするためにトレイルランニングの大会誘致や、麓にベース基地を誘致することができれば非常に魅力的である 近年登山が人気を誇っていて、僕も登山者の端くれだが、日本アルプス等の名の知れた山はほとんどが交通アクセスがよくなく、難易度も高い割に、装備や費用も大掛かりになってしまうため、かなりの数の登山者は低山や里山を中心に活動している。特に高御位山などは低山の中では西日本屈指の人気だという印象を受けるため、これらの層をターゲットに、「登った後のご褒美」の形でグルメ等を紹介できれば、少なからずマーケティング効果があるのではないかと思う。 加古川のご当地ソングを制作する。若者向けの楽曲と熟年世代向けの楽曲。完成した楽曲でコンテストやライブなどのイベント開催も行う

※主なご意見を一部抜粋

問7 加古川市の観光全般に対するご意見

問7最後に、加古川市の観光全般について、ご意見などを自由にご記入ください。

観光全般に対するご意見

- 加古川市に観光の要素がないとは思わないが、どちらかというとな観光資源が少ない自治体になるのではないかと思います。それを踏まえると、多くの市税を投入してまで力を入れる分野であるのかは、加古川市として、しっかり考えていただきたい
- ぎゅっと飯、おくるみおやつ、映画、動画にしても、どれも中途半端で、税金を使った割には加古川市PRに繋がっているとは思えない。思いつきであれこれ新しいことに手を出すのでは無く、もっと今ある資源、現在の市民の活動を活かした事業を考えてほしい
- 加古川の持つポテンシャルでは、いわゆる一般的な観光地のような観光振興はできない。
- 加古川は姫路と神戸に挟まれ、観光という点では弱いと感じる。ただ、住むには便利で自然もあるため、どちらかというとな住んでいる人、もしくは住みたいと思っている人を対象にプチ観光（いいところ紹介）を企画してみてもどうか
- ツーリズム的な観光ではなく、市民が住んでよかった、あるいは、住みたくなるような観光を進めることが加古川市には合っているとと思う
- 市民でも、加古川市の魅力的なスポットを知らない人も多いと思います。市民対象の観光ツアーはどうか
- 自分は加古川市に住んでいながらも、何が有名なのかをあまり知らないのな加古川市の観光やオススメをもっと知る機会が欲しい
- まちづくりの一環として観光に力をいれていくことで、市外にまちの魅力につながると考えている。市内の観光施設を巡るツアーなど、かこバスを活用した手軽な内容を取り入れることで、誰でもふらっとまち巡りできるアイデアはどうか
- よいところ、興味深いところが多くあるのに、姫路城への行き帰りに立ち寄ってもらえるための魅力発信PR活動が少ないと思う。加古川全般をやろうとするとコストもかかると思うので、ターゲットを絞った観光企画（古墳巡りなど）をひとつずつ広報して行ってはどうか
- 明石や姫路や神戸と比べて観光が弱く、位置も近くて、観光を盛り上げるのは難しいかもしれませんが、食などに市全体で力を入れてかつめしを他の県まで広げてほしい
- 人を呼び込む施策を考えるときは、人が来過ぎたときの対策も併せて考えてほしい。人が来過ぎてから対応しては、周辺の住民に迷惑がかかることになる。

※主なご意見を一部抜粋